

第二十六回帝國議會 衆議院 沖繩縣諸祿處分法案委員會會議錄(速記)第三回

會議

明治四十三年二月十七日午後一時二十四分開議

出席委員左ノ如シ

福井 三郎君

古野 孫太郎君

加瀬

禧逸君

矢島 中君

坂本

元明君

八束

可海君

山際 敬雄君

出席政府委員左ノ如シ

大藏省國債局長 塚田達二郎君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

沖繩縣知事 日比 重明君

大藏書記官 田

昌君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

沖繩縣諸祿處分法案

○委員長(福井三郎君) 前回ニ引續キ開會致シマス、質問ノアル方ハ此際質問ヲ願ヒマス——チヨット質問致シマスガ、御同シニナッタ沖繩縣諸祿處分法案參考書ノ二項目ニ五割即チ年限ニ於テ一年八分七厘五毛ヲ茲ニ利率ニ於テ二分五厘ヲ内地金祿處分ノ率ニ増加シタルト云フノデスガ、此公債ハ五分利附デスナ、五分利以上ニハナラヌカラ、所得金ノ中ニ入ッテ居ルト云フ意味デスナ

○政府委員(塚田達二郎君) 今御質問ノ通りニ内地ハ士族ノ處分ニハ五分、六分、七分、一割ト云フ公債ヲ以テ致シタルノアリマスガ、沖繩デハ公債ノ利息ニ付テハ差等ヲ設ケズシテ一律ニ五分ト云フコトニシタルデス、其タメニ公債ノ支給額ハ沖繩ノ士族ニ對シテハ多クナッテ居リマスガ、年ニ利息ハ五分デアリマスカラ、其得ルトコロノ金高ハ同ジコトニナリマス

○委員長(福井三郎君) モウ一ツ御尋ネ致シマスガ、餘地ノ一間切ト云フノハドウ云フノデス

○沖繩縣知事(日比重明君) 是ハ内地デ言フ村ト同様デアリマス

○委員長(福井三郎君) 一間切ト云フノハ村ト云フコトデスナ

○沖繩縣知事(日比重明君) サウデス、今ハ村ト言ヒマスガ、元ハ間切々々ト申シテ居リマス

○委員長(福井三郎君) 五石乃至十石デアッタノデスカ

○沖繩縣知事(日比重明君) 先アソレニ相當スルモノヲ與ヘマシタ

○委員長(福井三郎君) 内地ノ村ト變リハアリマセヌカ

○沖繩縣知事(日比重明君) 四百石、三百石ト云フノハ草高ト云フノデ、アチラデハ起石ト稱ヘテ居リマス

○委員長(福井三郎君) 百石ト言ッタナラバ、五斗俵二俵ヲ以テ一石トシテ居レバ、二百俵ト云フ譯デアリマスガ、ソレハ別トシテ村目ト云フモノニハ變リハアリマセヌカ

○沖繩縣知事(日比重明君) 村目ニハ變リハアリマセヌ

○委員長(福井三郎君) ソレハ内地ノ一升ハ向フノ一升デスナ

○八束可海君 僧侶ノ飯米ト云フモノガ内地ノ恩給ノ性質ト同様デアルト云フ御説明デゴザイマシタガ、既ニ恩給ト同一ノモノデアルトスレバ、此際家祿ヲ處分スルト同様ノ處分ヲ爲サズシテ、内地ノ恩給ヲ處分スル如クスルノガ法律上適當デアル、然ルニ之ヲ家祿ト同様ニ處分シテシマフト云フノハ將來ノ煩雜ヲ省クト云フ御説明デゴザイマシタガ、唯之ヲ記錄ニ留メテ明確ニ致シテ置キタイと思ヒマス、ソレカラ十三万七千幾ラト云フモノデ今日マデヤッテ居リマシタモノヲ、此際處分スルニ付テ百六十三万六千餘圓ト云フモノニ計算シマシタ其標準ヲ伺ッテ置キタイ、又十三四年頃ニ今日ノ處分ヲサルベキ筈デアッタモノガ故障ガアッタ爲ニ中止ヲシタルノデアルガ、十三四年頃ニ何故ニ處分ヲ爲シ得ナカッタノデアルカ、之ヲチヨット伺ヒマス

○委員長(福井三郎君) チヨット諸君ニ御諮リシテ置キマスガ、前回ニ續イテ知事並ニ視學官ガ出席セラレテ居ルノデスガ、參考トシテ之ヲ承ルトニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○沖繩縣知事(日比重明君) 唯今ノ御尋ニ御答致シマスガ、第一ノ御尋ハ僧侶飯米デアリマスガ、是ハ前回ニ於キマシテ御答致シマシタ通りニ極ク簡單ニ申シマスレバ、内地ノ現行ノ恩給ニ均シイモノデアリマスガ、ツマリ沖繩ノ社寺、所謂寺ト云フモノハ唯今ノコロデ俗ニ稱ヘテ居リマスガ、官寺、公寺、私寺、斯ウニツニ寺ガ大別サレテ居リマス、官寺ト稱ヘテ居リマスノハ官給ヲ受ケテ居ルカラデアル、公寺ト云フノハ是ハ村デ其寺ノ費用デケハ維持シテ居ル、併シ俸給ハヤハリ與レテ居ルノデアリマスケレドモ、寺ノ維持デケハ村デ之ヲ保ッテ居リマス、是ガ公寺デアリマス、私寺ト稱ヘルノハ隱居寺ト稱ヘテ居ッテヤハリ寺ノ一種デアル、其隱居寺ト云フモノニハ相當ノ僧侶飯米、即チ恩給見タヤウナ寺祿ヲ與レテ居ッタルモノデアリマシテ、名前ガ社祿トカ寺祿ト言ハズ、僧侶飯米ト稱ヘテ來タカラ事柄ハ二ツニ分レテ居リマスガ、性質ハヤハリ私寺ト云フ一ツノ寺ヲ作ッテ居ルノデアリマスカラ、ソレハ舊藩以來ノ慣例デアリマス、同ジク之ヲ祿ト舊藩時分カラ之ヲ支給シテ居ル、斯ウ云フコトニナリテ諸祿ノ中ニ之ヲ包含サレテ居ッタルデアリマス、能ク之ヲ分析シテ見ヌルト其性質ニ於テハ稍、恩給ニ均シキモノニ當ルヤウニナリマス、ケレドモ併シ現實ニ於テハヤハリ寺ト稱ヘツ、アルノデアルカラ、舊藩以來カラ今日マデ取扱ッテ居ルノデアルカラ、此中ニ包含シテ置ク、斯ウ云フコトニナル、ソレカラ此現行十三万何某ト云フ金祿ヲ來シテ居ル計算ノ御尋ネガアッタヤウデアリマスガ、是ハ參考トシテ御手回ニ廻シマシタ中ノ……

○大藏書記官(田昌君) 第二問ニ約十五万餘圓ノ現在ノ祿ヲ百六十三万餘圓ノ公債ニ換算シマシタ基礎ヲ御尋ネニナリマシタガ、ソレハ大體ニ於キマシテ内地ノ稅ノ處分ノ先例ニ依リマシテ、金祿、公債證書發行條例ニ依レル處分デケハソレニ依リマスノデ、ソレデ此第三條ヲ御覽ニナリマス分リマスガ、第二條ノ年限ト言ヒマスモノハ内地ノ

金祿ノ例ニ依リマスレドモ、前回ニ政府委員カラ説明シマシタ通り、尙侯爵ノ恩典ノ五割ダケ、即チ一年半宛皆加ハリマス、内地ニ於テ千圓以上ハ七年半デアルモノヲ、此處デ千圓以上九年デアリマス、ソレカラ終身祿ニ於キマシテ、内地ノ先例ニ於キマシテ總テ半分——永世祿ノ先例ガアリマセメデシタカラ、公平ニ保ツタメニ茲ニ三條ノ二項、三項ニ書イテアリマスヤウニ、永世祿ト終身祿トノ間ニ鈎合ヲ保ツヤウニシマシタノアリマス、ソレカラ先キニ政府委員カラ説明シマシタ通り、内地ニ於テ金祿證ヲ出シマシタトキニ五分、六分、一割ト出シマシタケレドモ、今日ハソレヲ出スコトハ出來ナイカラ現金ニ換算シテ現金ヲ餘計ニナルコトニシマシタ、ソレカラ尙侯爵ハ利子ニ於テ五分デアリマスカラ其半分二分五厘ヲ加ヘテ、同時ニ之ヲ現金ニ還元シテ、サウシテ此數字ヲ出シマシタノアリマス、ソレカラ尙侯爵ノ恩典ノ五割ヲ加ヘテソレヲ現金ニ換算シテ出シマシタト、三ツノタメニ斯ウ云フ數字ガ出タノアリマス、ソレカラ尙申上ゲテ置キマス、第一問ニ付キマシテ僧侶飯米ノ御質問ガアリマシタケレドモ、僧侶飯米ハ内地ノ終身祿ト同ジヤウナモノデアリマスカラ、内地ニ於キマシテモ金祿、永世祿、終身祿、諸祿ハ公債ニ處分サレテ居リマスカラ、此場合同一ニ處分スルノガ穩當デアラウト云フノデヤハリ加ヘマシタ、ソレカラ第三問ニ付キマシテハ……

○沖繩縣知事(日比重明君) 尙侯爵ハ十二年ニ處分サレマシテ、十二年ニ其他ノ士族一般ニ處分サレルト云フ政府ノ方針ヲ内示シタコトモアリマシタガ、其當時ハ未ダ藩論ガ一致シナイ當時デアリマシテ、藩情モ穩ナラヌト云フ狀況デアリ、且又前々カラ申上ゲマス通り、此沖繩縣ノ諸祿ト云フモノハ全然性質ガ變テ、餘程入組シタ性質ヲ含ンデ居ルデアリマス、内地同様ニ處分スルコトハ容易ナ調ベハ出來ナイ、又ナカナカ其性質ヲ極メルコトハ出來ナイト云フ一方ニハ困難モゴザイマスシ、且ツハ藩情甚ダ穩ナラヌ時機デアルカラ暫ク是ハ舊慣ノ儘ノ方ガ宜イ、斯ウ云フ趣意カラ致シマシテ、ウツチヤツテ今日ニ至ツタ、斯ウ云フ狀況ナンデアリマス、ソレカラソレニ付テ申上ゲテ置キマスガ、前回私カラ御答ヲ致シマシタ中ニ少シ正誤ヲ致シテ置キタイコトガゴザイマスカラ序ニ申上ゲテ置キマスガ、此受祿ノ數ヲ二百九十四人ト申上ゲマシタガ、是ハ一人デアリマス、ソレカラ受祿處分サレタ一例ガアリマスカラ、是ハ此參考書ノ中ニ上ゲルト宜ウゴザイマシタガソイ落シマシタカラ、チヨット其大要ダケヲ御話シテ置カウト思ヒマス、沖繩縣ノ現在ノ無祿者ノ數ハ二万五千九百三十九人アルノデゴザイマス、即チ是ハ個數デゴザイマス、其中ニ有祿士族ト云フモノカ二百八十八人、此外ニ算檢ガ四人無籍士族ガ二万五千六百五十一人デアリマスガ、役俸ヲ受クル資格アルモノ九百四十四人ト云フノガアリマシテ、其處分ハ明治十五年ト十八年ニ處分濟ミナツタモノガアルノデアリマス、是ハ無祿デアデ——是ハ妙ナ風ニナツテ居ッテソレハ前回モ申上ゲタト思ヒマスガ、所謂無祿デ何百日間奉公シタモノハ、所謂其出勤數ニ依ッテ一年間役人ニナルコトガ出來ル、斯ウ云フ彼所ハ制度ニナツテ居リマスサウシテ平素ハ無祿デ勤メテ居ッテ日數ガ重ナルト一年有給ノ役人ニナルコトガ出來ル、サウ云フモノガ廢藩置縣ノ當時九百四十四人アツタメニ、ソレニハ政府ハ一時給與金ヲ與レテ處分濟ミナツテ居リマス

○古野孫太郎君 條項ニ互ッテ質問致シマスガ、此第二條ノ第二項「前項永世金祿ニシテ云々」ト書イテアルノハ、二代限リデモウシマヘルモノヲ指シタノデアリマス

○大藏書記官(田昌君) 是ハ總テ含ムデアリマスガ三代以後ニ續クモノハモウ一ツノ條項ガアリマスノデ、先ズ二代ダケノモノデアリマス

○古野孫太郎君 前ニ戻リマスガ第二條ノ二項ノ三號ニ、上級ノ最少給與額ヲ超過スル金額ノ中前項ノ定率又ハ第三條第一項ノ年數異ナルタメ生シタル金額トアツテ、此金額ヲ削減スルト云フコトデアル、此年數ト定率以外ニハ別ニナイヤウデアリマスガ、サウスルト最少給與額ヲ超過スルノハ全部引イタガ宜カリサウニ思ハレル、所ガ其中是ダケ引ク、斯ウ書イタノハドウ云フ譯デアリマスガ

○大藏書記官(田昌君) 是ハ第二項ト三項ト御比較ヲ願ヒタイト思ヒマス、大體ノ趣意ハ此處分ト云フモノハ生活ノ程度ヲ計テ祿ノ少ナイモノホド割合澤山ノ公債ヲ與ヘルコトニナツテ居ルデアリマス、ソレデ此年限ガ此主意デ極ッテ居ルカラ適用上自ラ下ノモノガ餘計受ケル、下ノモノガ上ノモノヨリ餘計受ケルト云フコトハ不都合デアリマス、デ下ノモノガ上ノモノヲ超スコトハ出來ヌト云フコトガ第二項ニ極メタルノデ、是ハ内地ノモノニモサウ云フ例ガアリマス、ソレデ第二項ニアル第三條第一項ハ永世祿、第四條第一項ハ非永世祿、第五條ハ社寺祿、第六條ハ即チ僧侶飯米ト是ハ皆其資格ガ一定シテ居リマス、然ルニ第三條第三項ハ遞減祿デアリマス、此遞減祿ハ内地ニ先例ガナク、ソレガ非常ニ混雜シテ居リマス、ソレハ二代デ終ルモノアリ、或ハ三代デ終ルモノアリ、或ハ八代デ終ルモノガアルト云フノデ、其遞減ノ有様ガ又一定シテ居ナイノデアリマス、然ルニ此場合ニ第二項同様ニスレバ遞減ノ代數、又ハ遞減ノ金額ガ如何ニ違テ居テモソレヲ願ミナイデ悉ク現代ノ祿高デ切捨テルコトニナリマスガ、是ハ寧ろ遞減ニ關スルコトヲ、此標準ニ加ヘナイ方ガ祿ノ性質ガ違フデアルカラ當然デハナイカト云フ議論ガアリ、其議論ガ尤モアルト見マシタカラ祿ノ性質ニ依ッテ遞減代數又ハ金額ガ違フモノハ縱令下ノ者ガ上ノ者ヨリ多ク公債ヲ貰フモ差支ナイト云フコトニシマシタノデ、唯法律デ定メタ年數又ハ利子歩合ノタメニ下ノ者ノ上ノ者ヲ超スハ不公平デアリマスカラ、此點ダケ第二項ト同ジ趣意ヲ以テ削減スルコトニシタノデアリマス

○加瀬禮逸君 私ハ此御話ニナリマシタ參考書ノコトニ付テチヨット御尋ネシタイガ、ズツト末ノ方デアリマシテ沖繩縣金祿支出決算額及増減一覽表デアリマスガ、其備考トシテ説明サレタル部分ニ於キマシテ、十八年度ニ於テ前年度ヨリモ支出決算額ノ超過ヲ來タシタノハ、新ニ金祿ヲ賜タルモノガアルト云フコトデアルガ、途中カラ新ニ金祿ヲ賜ハルト云フノハドウ云フコトデアリマシタカソレヲ伺ヒタイ、次ニモウ一ツ伺ッテ置キマス、尙參考書ニアリマス給與額ノ調デスガ、之ニ依ルト交付スル證券ノ外ニ現金ガアリマスガ、ソレハ公債ノハシタノ部分ヲ現金デヤッタノデアリマスガ、或ハサウデナク公債ト現金ト併セテ與レルト云フ御方針デアリマスガ

○大藏書記官(田昌君) 十八年ノ處分ハ唯今チヨット書類ヲ持ッテ居リマセヌノデ、正確ノコトハ申上ゲラレマセヌガ、私ノ記憶デハ尙侯爵ノ子供ガアッテ分家シタ、若シ是ガ數年前ニ分家スレバ當時王子ニナツテ祿ヲ貰フベキ資格ガアツタ、所ガ唯分家ノ手續ガ遅レタタメニ祿ヲ貰ヘナイノハ不穩當ト云フノデ、當時特ニ太政官ノ特別處分ニ依テ祿ヲアルコトニ極ッテ居ッタヤウニ記憶シテ居リマスガ、多分ソレデアラウト思ヒマス、ソレカラ公債ト現金ト云フ方ノ御尋ネハ第七條ニアル、即チ五十圓未滿ノモノハ現金デ給ス

ルト云フコトデアリマス

○矢島中君 唯今御話ノ寺デスカ、官寺、公寺、私寺ト云フヤウニ分ッテ居リ、サウシテ僧侶ノ飯米ハ恩給ニ類似シタモノデアルト云フコトデアル、サウスルト此恩給ニ類似シタモノトスレバ、ヤハリ其僧侶ハ前ニ何ニカ相當ノ祿米ノヤウナモノヲ貰ッテ居ッタモノニヤルデアリマス、又サウデナク全ク前ニハ何ニモヤッテ置カナイノ此際ヤルト云フコトニナリマス

○沖繩縣知事(日比重明君) ソレハ先刻モ略々其意味ヲ御答ラシテ置イタ積リデスカ、此私寺ニ居リマス僧侶ハ既ニ官寺ト稱ヘル寺ノ住職ヲズツ勤メ來ッタモノデ、ソレガ年限通り勤メタ者ガ私寺ト云フ一ノ寺ヲ形造リテ、ソコニ住職シテ居リマス、ソレニ對シテヤリマスノデ……

○委員長(福井三郎君) 政府委員ニ御尋シマスガ、此百六十万圓ヲ四十三年度カラヤラウト云フノデ、此金額ハ無論ニ豫算ニ計上シテアリマセウガ、此豫算ニ付テハ何カ議論ガ出マシタカ

○政府委員(塚田達二郎君) 豫算ニ計上シテ居リマスノハ、端數現金トシテ支給セラルベキモノガ一万四千七百二圓ト云フモノガアリマス、ソレカラ百六十三万六千五百五十圓ト云フモノハ公債ヲ支給シナケレバナリマセウカラ、ソレノ利子ガ八万八千八百二十八圓、是ダケノ金額ガ四十三年度ノ豫算ニ計上サレマシテ、既ニ衆議院ニ於テ通過致シテ居ルデアリマス

○委員長(福井三郎君) ソレカラ此參考書ノシマヒニアルノハ、之ヲ貫フノ名前ガ出テ居ルノデスカ

○政府委員(塚田達二郎君) 左様デス

○委員長(福井三郎君) ソレカラ一番シマヒニ此金祿處分ヲヤッテ後ニイロク訴願ナドヲシタ者ガアルケレドモ、ソレハ今日調ベタラナクッタト云フコトハ、先刻ノ御説明デ分ッタヤウデシタガ、ソレニ付テ斯ウ云フ風ノ始末ニナッテ居ルカラ今度ハ算數上ノ處分ヲスルダケデアルカラ、處分ノ後ニ訴願ナドハ起ラヌ故ニ行政訴訟ナドヲスル手續ヲ省ヘテ置ク必要ハナイト云フコトデスカ、是ハヤハリ一ノ問題ドラウト思ヒマスガ、全然此處分ノ終ッタアトデハ是ニ對シテ不服ヲ訴ヘル者ガナケレバ宜イガ、若シサウ云フ者ガアルト行政訴訟ノ途ヲ開イテ置カヌト面倒ガ生ズルヤウナ憂ハアリマセウカ

○政府委員(塚田達二郎君) 是ハ前ニモ申上ゲマシタ通り現在支給シテ居リマス祿高臺帳ガアリマシテ、其臺帳ヲ基礎トシテ支給スベキ公債ヲ算出スルデアリマス、其算出ノ算盤ガ間違ッタト云フコトナラ審査ヲシテ本人ノ請求ニ依ッテ審査シテ、誤謬ヲ訂正スルコトハ無論ナシ得ラル、ノデスカ、事柄ニ付テノ爭ト云フモノハ臺帳ガ基礎デアリマス、將來起ルベキ苦ハナイト思ヒマス、尤モ昨年ノ末マデニ參考書ニモ書イテアリマス通り、約二百三十七人ト云フモノガ祿ニ付テ請願ヲシテ居リマス、其請願ハ新ニ祿ヲ與ヘテ吳レト云フ方ノ請願デアリマシテ、ソマリ現在ノ狀態ニ於テ不服デアリマス、是ハ廢藩置縣後一二ノ例外ヲ除キ祿ヲ與ヘタモノガアリマスガ、其以前ニハ新ニ祿ヲ與ヘ支給スベキ筋合ノモノデアリマセウカラ、皆理由ヲ付シテ却下シテ了ッタデアリマス、ソレデ此法律ノ適用スベキモノハ要スルニ現在支給シテ居ル祿高臺帳ヲ基礎トシタ

モノデスカ、今年ニ貫ッテ居ル者ガ其高ニ付テ既ニ不服ガアリマセウノデ、其不服ノナイモノヲ基礎トシテ算盤ヲ適用スルノデスカ、更ニ不服ヲ生ズル理由ヲ認メヌデアリマス、前ニモ申シマシタ通り算盤上當該官廳ガ誤算シタト云フコトナラ、是ハ行政訴訟ヲ致サヌデモ其誤謬ハ訂正シ得ベキモノデスカ……

○八束可海君 唯今ノ御説明ヲ伺ヒマシテ要領ヲ得マシタガ此二万五千九百三十九人ト云フ無祿士族ハ唯今ノ御説明デハ或ル條件ヲ充タシタ以上ハ、一時若クハ相當ノ役祿ヲ受クベキ資格ノアルト云フヤウニ承知致シタノデスカ、ソレデ或ル條件ヲ充タシタ以上ハ相當ノ食祿ヲ得ラルベキ資格ヲ有シテ居ル、此人間ニ對シマシテハ廢藩後何等ノ救助ト申シマスカ支給ト申シマス、ソマリ救済ノ途ハ何モ御取リニナラナクッタモノデスカ

○沖繩縣知事(日比重明君) 此參考書ノ方ニアリマス二万何千人ト云フハ資格ノ無イモノデ、資格ノアル者ハ七百四十四人デ、其他ノ者ハ資格ノナイモノデスカ全ク無祿士族ニナッテ居リマス

○八束可海君 今日マデ何ニモヤッタコトハアリマセウカ

○沖繩縣知事(日比重明君) 少シモヤッタコトハアリマセウカ

○加瀬禮逸君 チョット一點ダケ確メテ置キタイノデスカ、此金額ノ増加シタノハ多分尙侯爵ノ御子様が分家ナスッタト云フ御答デアリマスガ、尙侯爵ノ御子様が分家ナサルニ付テ其御子様ニハ是マデ別段何モ具ヘナカッタノデスカ、ソマリ世嗣ト云フノハヤハリ家督相續人所謂嫡子トナルベキ人ニノミ限ッテ外ノ兄弟ハ無祿トナッテ居ルノデスカ、ソレト今一ツハ今ノ法律ノ改正處分法案ノ第二條ニ祿高千圓以上千分ノ七十五、千圓未滿百圓以上千分ノ八十五、百圓未滿千分ノ九十五、ト云フヤウナ妙ナ標準ニナッテ居リマスガ其理由ヲ承ハリタイノデスカ

○大藏書記官(田昌君) ソレハ御參考書ノ琉球藩祿制説明ノ一二ニモアリマス通り、分家シナイ中ハ何ニモ貫ヘナイノデアリマス、二番目デモ何デモ分家シタキニ始メテ貫フノデアリマス、ソレカラ第二條ノハソコニアル金祿公債證書發行條例ニアリマス如ク、千圓以上ハ五分利ノ公債ヲ遣ッテ居リマス、千圓未滿ハ六分利、百圓未滿ハ七分利ノ公債ヲ遣ッテ居リマス、ソレニ二分五厘ヲ加ヘタノデアリマス

○委員長(福井三郎君) 是デ質問ハ終了シタモノト認メテ宜シウゴザイマス、ソレデハ質問ハ終了致シマシタカラ討論ニ移リマス、ソコデ逐條審議ニ致シマセウ、如何デゴザイマス、逐條審議ニ致シタコロガ僅カデアリマス、逐條審議ニシマセウ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(福井三郎君) ソレデハ逐條審議ニ致シマス、第一條ハ如何デスカ、修正等ノ意見ハアリマセウカ——ソレデハ第一條ハ御異議ガナイト認メマス、第二條ニ移リマス

〔「異議アリマセウ」ト呼フ者アリ〕

○八束可海君 私ハ二條、三條ニ付テ修正ヲシタイ、先ツ第一ニ沖繩縣ノ尙侯爵ニ對シテ非常ニ恩典ヲ與ヘラレマシタガタメニ、今回處分ヲスル士族ニ對シテモ其半分五割ノ恩典ヲ與ヘテ割出サレタ公債證書ノ標準ト申シマセウカ、一一條、三條ニ舉ゲデアリマスガ、此五割ト云フ恩典ヲ與フルト云フコトハ今日ノ狀態ト致シマシテ、果シテ必要デ



ル、即ち處分セラル、當時三不幸ニシテ或ル條件ヲ充タサナカッタ者ハ何等ノ給與ヲ受ケルコトガ出來ナイ、殊ニ尙侯爵並ニ士族ニ對シテ相當ノ給與ヲ與ヘルト云フ雅量ガアルナラバ、何故ニ條件ヲ充タシ得ナカッタ不幸十二萬餘人ノ者ニ向ッテ救済ヲシナカッタラウ、斯ウ云フ考ヘ政府ノ頭ニ浮バナカッタデアラウカ、ソレデ此二萬餘人ノ當時不幸ナ無祿士族ニ對シテ何等ノ涙ガナカッタ政府ガ今日此恩典ヲ與ヘルト云フコトハ公平ヲ失シテ居ル、ツマリ小ニ薄シテ大ニ厚イト云フヤウナコトニナリマスガ、無祿士族ト云フコトハ、時ニ利アラザルガタメニ何等給與シナカッタガ、即チ其間ノ比較スルト如何ニモ無祿士族トノ釣合ガ取レナイ、ソレデアアルカラ無祿士族ト尙侯爵トノ間ノ釣合ヲ取ルト云フ上カラ今日ノ五割ノ恩典ヲ與ヘルト云フコトハ過當デアルト斯ウ考ヘテ居ル、ソレカラ此四朱五朱ノ利率ニ付テハ強テ争ヒマセヌガ、償還年限ガ長クナルカラ成ルベク短クシタイト云フ意味デ五歩利ニシタト云フ御説モアリマスガ、是ハ二十二年ヨリ十八年ニ償還スル方ガ得策デアルト云フナラバ、六朱ニシテモツト早ク年限ヲ縮メタラ宜クハナイカ、要スルニ今日ノ狀態カラ見テ適當ナ利息デアラナラバ、多少年限ガ長クナツテモ其方ガ穩當デハナカラウカト感ズルデアリマス

○沖繩縣知事(日比重明君) 私ハ無祿士族ノ狀態ニ付テ……

○委員長(福井三郎君) ツレデハ政府委員トシテノ御出席デアリマセヌカラ答辯ハ許シマセヌガ、參考トシテ伺マセウ

○沖繩縣知事(日比重明君) 無祿士族ノ狀態ニ付テ申述ベタイト思ヒマス、唯今八東君カラノ御話モアリマスガ、沖繩縣ニ士族ノ多イハ此無祿士族ノ中デ、先刻申シマシタ九百何某ト云フモノハ相當ノ處分ニナツテ居リマスガ、其外ノ無祿士族ト云フモノハ之ニ反對シテ何等ノ勤メヲ爲サヌトコロノデアリマス、沖繩縣ノ制度トシテ士族ノ次、三男ノ分モ悉ク士族ニナリマス、或ル藩ニ依ルト長男ダケハ士族デアケレドモ、次、三男ハ皆平民ニ落チタモノデアリマスガ、沖繩縣ノ制度トシテ次、三男デモ男ガアルダケハ士族ニナル、分家シテモ士族ニナル、又其分家シタ士族ノ子供ガヤハリ士族ニナル、斯ウ云フ制度デアリマスカラ此數ガ非常ニ多イ、多イケレドモ藩ニ對シテ何等ノ勤メヲ爲サナイ斯ウ云フ側デアリマシテ、他ノ内地ノ或ル藩ノ事情カラ申シマス幾分カ藩ニ對シテ勤シタ者ノ如キ御考モ起リマセウガ、アスコノ無祿士族ト云フノハ全ク今申上ゲル通りノ事情デアリマスカラ、外ノ藩ニ於ケル士族ノ狀態トハ大分變ッテ居リマス、御參考マデニ申上ゲテ置キマス

○八東可海君 二萬五千幾ラト云フ無祿士族ハ、凡テ或ル星ヲ取ルトカ云フコトガアレバ、一年限ノ給與ヲ受ケルトカ云フ資格ハナイノデスカ

○沖繩縣知事(日比重明君) サウデス、ソレハ其中其星取ノ役ニナル方ヲ希望シタ者ハツレニナルノデス

○八東可海君 ツレカラ星取ノ役ノ希望ノアル者ハナリ得ラレル資格ハアルノデスカ

○沖繩縣知事(日比重明君) サウデス、併シソレハ數ガアルモノデアリマスカラ、無制限ノ者ガ悉クツレニナルト云フ譯デアリマセヌ

○加瀬禧逸君 私ハ諸君ニ御諮リヲ致シタイ、實ハ唯今八東君ノ御議論ヲ拜聽致シマスレバ一應理由ノアルコト、モ感シマス、尙政府委員ノ御辯明モ亦一理アルト思フ、或

ハ私自己ノ考ヲ申シマスレバ八東君ノ或ル部分ハ贊成シ、政府委員ノ或ル部分モ亦採ラウト思ッテ居リマス、要スルニ内地ノ公債處分——金祿處分ト同一ニシロト云フコトモ少シ酷デアハルマイカ、沖繩ハ特別事情ガアルカラ多少其事情ヲ斟酌スル必要モアラウト思ヒマス、ツマリ割合ヲ幾分カ内地ノ者ヨリモ好ク授ケルト云フコトニ於テハ、私モ斯クシタイト思フ一人デアアル、併ナガラ五割ヲ漸々削ッテ内地ノ同様ニスルト云フコトハ如何カト思ヒマス、隨分ノ割合ヲ内地ノ諸藩ノ整理ト比シテハ得セシメタイ、斯ウ云フ希望ヲ有ッテ居リマスカラ、更ニ此處デ一ツ今日直ニ即決サレルコトヲ御延バシ下サリマシテ、調査委員ト云フモノヲ置キマシテ年限若ハ金利等ニ付テ篤ト調査ヲシタラドウカト思ヒマス

○委員長(福井三郎君) ドウデスカ加瀬君ノ御考ハ頗ル穩健ノ御考ノヤウデスカ、是ハ僅カ九條ノ短イ法案ト云ヒナガラ利害ノ係ルトコロハ——實ニ沖繩縣ノ是ガ最終ノ處分テ隨分心ヲ用井ル價ガアルダラウト思ヒマス、加瀬君ノ御意見ノヤウニシテ見タトコロガ、僅カ是ダケノ委員デ此中カラ特殊ノ調査委員ヲ拵ヘルト云フコトモ其數ニモ困リマスカラ一時休憩ヲ致シマシテ、サウシテ全員委員デ能ク政府委員ヲ交セテ懇談スルト云フコトニシテハドウカト思ヒマス

〔異議ナシ〕ノ聲起ル

○委員長(福井三郎君) 御異議ガナケレバサウ云フコトニ致シマス、暫時休憩致シマス、其休憩時間ヲ以テ協議時間ト致シマスカラ、其間ニ御協議ヲ願ヒマス

午後二時二十四分休憩

午後二時四十七分開會

○委員長(福井三郎君) ツレデハ協議會ハ濟マシタカラ、改メテ本會ヲ開キマス、二條、三條ニ付テハ御異議ハアリマセヌカ

○八東可海君 此二條、三條ヲ議セラル、ニ當リマシテ、今協議會ニ於テ日比君ノ御話モアリマシタカラ、私ノ修正案ハ撤回シテ置キマス

○委員長(福井三郎君) ツレデハ修正案ハ撤回ニナリマシタ、二條、三條ハ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(福井三郎君) 二條、三條ハ原案ノ通りニ決シマス、四條以下一括シテ議題ニ供シマス

〔是モ原案ノ通り〕ト呼フ者アリ

○委員長(福井三郎君) サウスレバ四條以下ニ付テハ逐條御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(福井三郎君) ツレデハサウ決シマス、更ニ一括シテ三讀會ニシテ御協議ヲ致シマス——全部御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(福井三郎君) ツレデハ本案ハ全部政府案ノ通り原案ヲ可決致シマス、是デ委員會ハ結了シマシタカラ、散會致シマス

午後二時五十一分散會

明治四十三年二月十七日印刷

明治四十三年二月十八日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局